

## 技術士包装物流会との出会いに感謝して



技術士包装物流会  
関西支部理事 真野 仁孝

2012年9月に大阪府門真市のパナソニック企業年金基金松心会館において、第1回関西支部「技術士受験説明会」が開催され、知人からの紹介により、私も参加させて頂きました。当時私は、同年8月に技術士第2次試験筆記試験を受け、結果を待っている段階でした。

田中会長の基調講演はご自身のご経験に基づかれたもので非常に熱く、ご講演の最後に上杉鷹山の「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」で締め括られ、私は非常に鮮烈な印象を受けました。私はその熱い思いを心に持ち、同年12月に口頭試験を受け、翌年3月に晴れて経営工学部門（生産マネジメント）に合格することができました。

私は食品工場の品質管理部門の従事経歴が長く、技術士2次試験受験時は食品の充填包装受託会社の品質管理部門に出向しておりました。当時の業務に直接関わることが多かったと共に、高度の専門知識・技術をお持ちの諸先輩の集団であることに魅力を感じて、第2次試験合格直後、当会に入会させて頂きました。入会後は、包装及び物流関連のみならず、幅広いご講演を聞く機会が増え、自分自身の知識を高めると共に人脈を広めることができました。

関西支部「技術士受験説明会」は第2回を2014年2月に、第3回を2016年2月に開催し、両回とも私はパネラーの1人として参加させて頂きました。第2回の説明会では、私が受けた「熱い思い」を自分なりの言葉で伝えなければと気負ってしまい、肩に力が入り過ぎたことを説明会後に自分で反省しました。後日、関西支部研究会後の懇親会にて、第2回の説明会に「受験生」の立場で参加された方が、私の拙い話（受験勉強の仕方）が参考になったとお話して

下さったと共に、第2次試験筆記試験に合格されたことを聞き、赤面するほど恥ずかしかった反面、非常に嬉しく思いました。その方はその後の口頭試験も受かり、技術士登録後、現在当会の関西支部会員となられております。

以上、私の技術士包装物流会との出会い、並びに当会入会後に経験させて頂いた事的一端をご紹介いたしました。私が技術士包装物流会に出会って4年、会員になって3年半と若輩者ではございますが、これからも自分自身を高めることを常に意識しながら、微力ながら技術士包装物流会に貢献できるよう努力していきたいと考えております。